

報道関係各位

ナイスジャパン株式会社
2021年9月1日

NICE、2021年第2四半期財務ハイライト

売上高が前年同期比 16%の収益成長 クラウド関連の売上も前年同期比で 32%増加

通期売上高と EPS ガイダンスを上方修正へ

通話録音装置の提供から始まり、企業のデジタルトランスフォーメーションを支援する NICE Ltd. (Nasdaq : NICE) は、米国時間 8 月 5 日付で、第 2 四半期決算を発表しました。

■ 2021 年 第 2 四半期 財務ハイライト

GAAP	Non-GAAP
売上 前年同期比 16%増の 4 億 5600 万ドル	売上 前年同期比 16%増の 4 億 5900 万ドル
クラウド関連売上 前年同期比 32%増の 2 億 4300 万ドル	クラウド関連売上 前年同期比 32%増の 2 億 4600 万ドル
売上総利益 前年 65.5%対し、67.0%	売上総利益 前年 71.0%対し、72.2%
営業利益 前年 5600 万ドルに対し、14%増の 6400 万ドル	営業利益 前年 1 億 1140 万ドルに対し、16%増の 1 億 2960 万ドル
営業利益率 前年 14.3%に対し、今期 14%	営業利益率 前年 28.2%に対し、今期 28.2%
希薄化 EPS 前年 0.68 ドルに対し、1%減の 0.67 ドル	希薄化 EPS 前年 1.37 ドルに対し、15%増の 1.57 ドル
営業キャッシュ・フロー 前年比 37%増の 8140 万ドル	

NICE の CEO、Barak Eilam のコメント

「第 2 四半期の売上が、前年比 16%増となったことを非常に嬉しく思います。これは、**クラウド分野の堅調な成長拡大**と、**クラウド関連売上高が総収益の 50%以上に成長**した結果です。すべての主要な指標における第 2 四半期の強力な財務結果は、クラウド、デジタル、人工知能（AI）での堅実な実行、対大企業での CXone の継続的な成功、および国際市場での急速な成長によって推進されています。市場のクラウド化は加速し続けていますが、フルデジタル CX への拡張は NICE にとってさらなる重要な機会を表しています。過去 18か月間の有機的および買収を通じてのデジタル CX への投資で、CXone は独自のソリューションセットを使用し、35 以上のデジタルチャネルを含むすべてのカスタマーチャンネルにわたる**カスタマージャーニー全体をカバーできる完全なデジタル CX プラットフォーム**に進化しました。」

DX はまだ非常に初期の段階であり、明確なマーケットリーダーとして、私たちはクラウドと同じようにデジタルで目覚ましい成功を収めると信じています」

■ 第 2 四半期の GAAP 財務ハイライト：

- ・ **売上高**：2021 年第 2 四半期の売上高は、2020 年第 2 四半期の 3 億 9,320 万ドルから、16.0%増加して 4 億 5,600 万ドルになりました。
- ・ **売上総利益**：2021 年第 2 四半期の売上総利益と売上総利益率は、2020 年第 2 四半期の 2 億 5,740 万ドルと 65.5%に比べて、それぞれ 3 億 550 万ドルと 67.0%に増加しました。
- ・ **営業利益**：2021 年第 2 四半期の営業利益は、2020 年第 2 四半期の 5,610 万ドルから 14.0% 増加して 6,400 万ドルになりました。第 2 四半期の営業利益率は 2020 年第 2 四半期の 14.3% から 14.0%に減少しました。
- ・ **純利益**：2021 年第 2 四半期の純利益は、2020 年第 2 四半期の 44.6 ドルから 4,440 万ドルになりました。純利益率は、2020 年第 2 四半期の 11.3%から 9.7%に減少しました。
- ・ **希薄化 EPS**：2021 年第 2 四半期の希薄化 EPS は、2020 年第 2 四半期の 0.68 ドルから、0.67 ドルに減少しました。
- ・ **営業キャッシュ・フローとキャッシュバランス**：2021 年第 2 四半期の営業キャッシュ・フローは 8,140 万ドルでした。第 2 四半期には、34 万ドルが自社株買いに使用されました。2021 年 6 月 30 日現在、現金および現金同等物の合計、短期および長期の投資は 14 億 770 万ドル、負債の合計は 6 億 1310 万ドルでした。

■ 第 2 四半期の Non-GAAP 財務ハイライト：

- ・ **売上高**：2021 年第 2 四半期 Non-GAAP ベースの売上高は、2020 年第 2 四半期の 3 億 9,510 万ドルから、16.0%増加して 4 億 5,890 万ドルになりました。
- ・ **売上総利益**：2021 年第 2 四半期の Non-GAAP 売上総利益と売上総利益率は、2020 年第 2 四半期の 2 億 8,050 万ドルと 71.0%に比べて、それぞれ 3 億 3,150 万ドルと 72.2%に増加しました。
- ・ **営業利益**：2021 年第 2 四半期 Non-GAAP 営業利益は、2020 年第 2 四半期の 1 億 1,140 万ドルから 16.4%増加して 1 億 2,960 万ドルになりました。Non-GAAP 営業利益率は昨年の 28.2%と同じ 28.2%でした。
- ・ **純利益**：2021 年第 2 四半期 Non-GAAP 純利益は、2020 年第 2 四半期の 8,990 万ドルから 16%増加して 1 億 430 万ドルになりました。Non-GAAP 純利益率は昨年の 22.7%と同じ 22.7%でした。
- ・ **希薄化 EPS**：2021 年第 2 四半期 Non-GAAP 希薄化 EPS は、2020 年第 2 四半期の 1.37 ドルから、14.6%増加して 1.57 ドルになりました。

■ 2021 年第 3 四半期および通年のガイダンス：

- ・ **2021 年第 3 四半期：**2021 年第 3 四半期 Non-GAAP ベースの売上高は 4 億 6000 万ドルから 4 億 7000 万ドルの範囲になると予想されています。2021 年第 3 四半期の Non-GAAP ベースの希薄化 EPS は、1.51 ドルから 1.61 ドルの範囲になると予想されます。
- ・ **2021 年通年のガイダンスの上方修正：**2021 年通年の Non-GAAP ベースの売上高は、18 億 3500 万ドルから 18 億 5500 万ドルの範囲になると予想されます（以前のガイダンスの範囲である 18 億ドルから 18 億 2000 万ドルより上方修正）。2021 年通年の Non-GAAP ベースの希薄化 EPS は、6.26 ドルから 6.46 ドルの範囲になると予想されます（以前のガイダンス範囲である 6.19 ドルから 6.39 ドルより上方修正）。

※本プレスリリースはニュージャージ州ホーボーケン発、2021 年 8 月 5 日付け発表の抄訳です。

NICE について：

NICE (Nasdaq : NICE) を選んだ、世界中のあらゆる規模の企業が、主要なビジネス指標を満たしながら、優れたカスタマー・エクスペリエンスを簡単に作成しています。世界一のクラウドネイティブ・カスタマーエクスペリエンス・プラットフォームである「CXone」を販売している NICE は、人工知能 (AI) を活用したコンタクトセンター・ソフトウェアの世界的リーダーです。Fortune 100 企業のうち 85 社以上を含む、150 か国以上の 25,000 以上の組織が、NICE と提携して、すべての顧客とのやり取りを変革し、向上させています。

www.nice.com

Non-GAAP 財務指標について：

このプレスリリースには、Non-GAAP 貢務指標が含まれています。Non-GAAP 貢務指標は、株式に基づく報酬、取得した無形資産の償却、取得関連費用、債務の割引および債務の消滅による損失の償却、および Non-GAAP 調整の税効果を除外するように調整された GAAP 貢務指標で構成されます。企業結合会計規則は、買収した事業体の収益の取り決めに関連する法的履行義務を負債として認識することを要求しています。そのような負債に割り当てられる金額は、取得日の公正価値に基づきます。収益の取り決めに対する Non-GAAP 調整は、そのような収益の全額を反映することを目的としています。当社は、これらの非 GAAP 貢務指標を、対応する GAAP 指標と組み合わせて使用することにより、投資家に当社の事業の財務実績に関する有用な補足情報を提供します。Non-GAAP 貢務指標は、当社の事業の継続的な業績の指標として投資家にとって有用であると信じています。当社の経営陣は、当社の補足的な Non-GAAP 貢務指標を定期的に社内で使用して、当社の事業を理解、管理、評価し、財務、戦略、および運営上の意思決定を行っています。これらの Non-GAAP 指標は、経営陣が将来の期間の計画と予測に使用する主要な要素の 1 つです。当社の Non-GAAP 貢務指標は、単独で、または同等の GAAP 指標の代わりと見なされることを意図したものではなく、GAAP に従って作成された当社の連結財務諸表と併せて読む必要があります。これらの Non-GAAP 貢務指標は、他社が使用している Non-GAAP 貢務指標とは大きく異なる場合があります。GAAP ベースと Non-GAAP ベースの結果の調整は、連結損益計算書の直後の表に記載されています。当社は Non-GAAP ベースでのみガイダンスを提供しています。GAAP ベースから Non-GAAP ベースへのガイダンスの調整は、GAAP の結果で報告され、将来の影響を含む GAAP と Non-GAAP の財務指標の間の調整を必要とする将来のイベントに関連する予測不可能性と不確実性、将来の事業買収の可能性が影響するため、提供しておりません。したがって、Non-GAAP 貢務指標に基づくガイダンスと、将来の期間の対応する GAAP 貢務指標との調整は行っておりません。

将来性の見通しに関する記述 :

本プレスリリースには、1995 年米国民事訴訟改革法で定義する「将来性の見通しに関する記述」に該当する情報が含まれます。将来性の見通しに関する記述は、NICE Ltd. (以下「当社」) 経営陣による現在の意見、予想、仮定に基づくものです。将来性の見通しに関する記述は、英文において“believe”、“expect”、“seek”、“may”、“will”、“intend”、“should”、“project”、“anticipate”、“plan”または同様の語で記述されています。

将来性の見通しに関する記述は会社の実際の結果や業績が本プレスリリースに記述されているものと大きく異なる原因となりうる多くのリスクまたは不確定要素の影響を受けることがあります。私たちのビジネス条件および財務条件に影響を与える可能性のある、COVID-19 に伴う不確実性、経済・事業環境の変化に伴うリスク、競争、CCaaS ビジネスとしての成功および成長、技術およびマーケット要件の変化、会社の製品に対する需要の減少、新規テクノロジー、製品、アプリケーションをタイムリーに開発および導入できない状況、獲得した業務、製品、テクノロジー、人材の吸収および統合における困難または遅延、マーケットシェアの喪失、特定のマーケティングおよび配布協定を維持できない状況、第三者のクラウドコンピューティング・プラットフォームプロバイダー、ホスティング施設、サービスプロバイダーへの依存、サイバーセキュリティその他の侵害脅威、会社とその製品に関する法律、規制、標準規格の新規施行または修正の影響が含まれますが、これに限定されません。会社に関するリスク要因および不確定要素の詳細については、米国証券取引委員会に提出される、フォーム 20-F 年次報告書を含む会社のレポートを参照してください。本プレスリリースに含まれる将来性の見通しに関する記述は、本プレスリリースの日付時点での作成されたものであり、法律で定められている場合を除き、会社はこれを更新または改訂する責任を負いません。

【本件に関するお問い合わせ先】

ナイスジャパン株式会社 広報事務局（共同ピーアール内） 担当：俞（ゆう）、上段、上瀧
TEL : 03-6260-4853 Email : nicejapan-pr@kyodo-pr.co.jp